

令和2年度 えびの市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証

(単位：円)

No.	計画書No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費Aの財源内訳					事業 初期	事業 終期	実施状況	効果・成果及び検証(評価) ①効果・成果(数値等具体的に記入) ②検証(評価)	課題等 ①事業実施の中での課題等 ②今後の方向性	
					A 総事業費	B 国費 ※Fを除く	C 県費	D その他	E 一般財源						F 臨時交付金
合計					515,679,493	4,913,000	6,825,026	0	180,941	503,760,526					
1	1	えびの市生活支援・消費喚起対策商品券発行事業	企画課	①市民の生活支援及び消費喚起による市内小規模事業者支援として、市民1人につき、市内商工会加盟店で使用可能な商品券1万円を交付するもの。 ②通信運搬費、商品券取扱事務補助金、商品券交付金、消耗品費、商品券発送業務委託料 ③えびの市商工会(住民基本台帳に記載されている全市民)	194,082,722	0	0	0	0	194,082,722	R2.5	R2.12	新型コロナ感染拡大初期における市民の生活支援及び消費喚起のため、商品券の配布を行った。 【経費内訳】 商品券：185,102,000円 換金等事務補助：4,500,476円 通信運搬費：4,049,596円 その他消耗品等：430,650円	①対象市民の99.8%へ商品券を配布し、市内商工会加盟店において185,102,000円が消費された。 ②市内で商品券により185,102,000円(500円×370,204枚)が消費され、市民の生活支援とあわせて市内商工会への消費喚起が図られた。	①商品券使用店舗及び業種に偏りがみられた。 ②新型コロナ感染拡大初期の施策であったことから、今後については手法及び対象者を含め必要に応じて検討する。
2	3	小規模事業者事業継続支援金	観光商工課	①売上高の減少等により事業に支障が生じている市内小規模事業者及び中小企業のうち、宿泊業及び飲食サービス業等の事業者に対し、事業の維持と継続のための支援金を交付するもの。 ②小規模事業者事業継続支援金、消耗品費、通信運搬費 ③市内小規模事業者及び中小企業のうち、宿泊業及び飲食サービス業等の事業者	13,708,000	0	0	0	0	13,708,000	R2.5	R2.5	売上高の減少等により事業に支障が生じている市内小規模事業者及び中小企業のうち、宿泊業及び飲食サービス業等の事業者に対し支援金を支給した。 【経費内訳】 支援金：13,700,000円 その他消耗品：8,000円	①宿泊業及び飲食サービス業等の137事業者に対し支援金を支給した。 ②支援金を支給することにより、事業者の事業継続を図ることができた。	①宿泊業及び飲食業に限らず多種多様な事業者に感染症の影響があることから、今後の支援の在り方が課題となった。 ②業種にこだわらず感染症の影響に応じた支援を行っている。
3	4	肉用牛生産者緊急支援対策事業	畜産農政課	①持続可能な肥育経営を支援するため、西諸2市1町、2JAが連携し、緊急的な肥育素牛導入対策を講じ、地元肥育農家の支援と繁殖農家の経営安定に努めるもの。 ②肉用牛生産者緊急支援対策事業補助金 ③小林家畜市場において和牛肥育素牛を導入するえびの市内の和牛肥育経営体	1,535,000	0	0	0	0	1,535,000	R2.6	R2.8	令和2年5月セリ～7月セリ市において、競り市に上場される肥育素牛を導入した場合に1頭当たり5,000円の支援を行った。 【実績】 5月セリ115頭、6月セリ103頭、7月セリ89頭、合計307頭 307頭×5,000円=1,535,000円	①子牛価格暴落により、生産者の経営意欲の低下が懸念されたが、西諸地域で対策を実施することで、子牛価格暴落を防止でき、経営意欲の維持が図られた。 2月800,245円 3月672,511円 4月663,016円 5月675,714円 6月685,038円 7月671,431円 8月704,463円 ②導入頭数が計画より若干少なかったが、西諸全体で支援したことにより、子牛セリ価格の暴落を防ぐことが出来た。	①事業実施までに期間が短く、生産者への周知に苦慮したが、関係機関と連携しスムーズに事業周知が図られた。 ②不測の事態に備え今後も各関係機関との連携を図る。
4	6	肥育牛出荷流通円滑化緊急特別対策事業及び畜産物消費喚起対策事業	畜産農政課	①出荷調整により、県外と畜場へ出荷が想定されることから、出荷輸送に係る経費の一部を支援する。また、宮崎牛の消費促進を図るため、市内の宮崎牛取扱店7店舗と連携したキャンペーンの実施に対して支援を行うもの。 ②肥育牛出荷流通円滑化緊急特別対策事業、畜産物消費喚起対策事業(商品券)、広告費 ③市内の宮崎牛取扱店7店舗ほか	3,793,696	0	0	0	0	3,793,696	R2.5	R3.1	①肥育牛出荷流通円滑化緊急特別対策事業については、1件の肥育農家の出荷先が県外と畜場へ変更となった為、輸送費の一部支援を実施した。 ②畜産物消費喚起対策事業については、市内の宮崎牛取扱店と連携し、宮崎牛消費喚起キャンペーンを行い、宮崎牛3,000円分に対し1,000円のえびの市商工会商品券を進呈し、宮崎牛の消費拡大を図った。	①アと畜場が急遽変更となったものの、輸送経費の一部負担を行うことで、生産者の負担軽減と出荷牛の滞留を防ぐことが出来た。 令和2年7月～12月まで6回12頭/車(200,000円)×6回×補助率1/2=600,000円 ①牛肉の消費が著しく低迷している中で、市民を対象にキャンペーンを行い宮崎牛の消費拡大が図られた。 キャンペーン開催3回 えびの市商工会商品券6,272枚配布 ②牛肉の過剰在庫により、出荷調整が多く発生する可能性があるとして予測したが、結果的に事業対象は1件の6回であった。③フェア3回の商品券6,300枚の計画で実施し、結果として、フェア3回、商品券6,272枚の配布となり、計画通り実行できた。	①肥育農家へ確実に事業内容の周知が出来た為、急遽出荷先が変更となってもスムーズに対応出来た。 ②各店舗同日で開催することで、日程調整が難しかった。また、各店舗でセルの方法が異なり、普段より多くの労力がかかってしまった。 ③不測の事態に備え、今後も関係機関との連携を図っていく。 ④各店舗同日開催とキャンペーン内容は調整が難しい為、各店舗が取組みやすい方法を検討し、消費拡大に取り組む。
5	7	ひとり親世帯応援給付金	こども課	①経済的影響を受けている児童扶養手当を受給する世帯に対し、国が実施する児童手当への加算とは別に児童1人につき10,000円の給付金を支給するもの。 ②ひとり親世帯応援給付金、システム開発委託料、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費 ③児童扶養手当を受給している世帯	3,334,420	0	0	0	0	3,334,420	R2.5	R2.6	ひとり親世帯応援給付金として、児童扶養手当を受給する世帯に対し、児童1人につき10,000円の給付金の支給を行った。 【経費内訳】 給付金：3,020,000円 需用費：59,728円 役務費：16,044円 委託料：266,200円	①対象となった191世帯302人に支給を行った。 ②新型コロナウイルス感染症による影響を受けているひとり親世帯に対して、経済的支援を行うことができた。	①問題等なく実施できた。 ②今回限りの支給のため、方向性未定。

令和2年度 えびの市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証

(単位：円)

No.	計画書No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	A 総事業費	総事業費Aの財源内訳					事業 始期	事業 終期	実施状況	効果・成果及び検証(評価) ①効果・成果(数値等具体的に記入) ②検証(評価)	課題等 ①事業実施の中での課題等 ②今後の方向性
						B 国費 ※Fを除く	C 県費	D その他	E 一般財源	F 臨時交付金					
6	8	要保護及び準要保護世帯応援給付金	こども課	①小中学校に在籍する低所得世帯への支援 ②臨時休業期間中の昼食等相当額 ③要保護及び準要保護世帯のうち、児童扶養手当受給世帯を除いた世帯。	750,000	0	0	0	0	750,000	R2.5	R2.6	小・中学校に子どもが在籍し、要保護及び準要保護世帯で児童扶養手当の非該当世帯に対し、学校の臨時休業により負担した昼食などの費用相当分として、子ども1人につき1万円を支給した。 【経費内訳】 要保護及び準要保護世帯応援給付金：750,000円	①小学校34世帯50人、中学校：23世帯25人の合計75人に給付金を支給した。 ②給付金を支給することで、学校の臨時休業による昼食などの負担軽減を図ることができた。	①特になし ②感染状況等を踏まえながら、今後も保護者の経済的負担軽減策の検討を行う。
7	10	学校給食費負担軽減補助金	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症対策に係る保護者の経済的負担軽減 ②学校給食費の一部 ③小中学校に在籍する児童生徒の保護者	22,267,260	0	0	0	0	22,267,260	R2.5	R3.2	児童生徒の学校給食費又は学校給食費相当分を補助。 1食単価：小学校 219円、 中学校 259円 72日分(5/25~10/9) 計 95,933食 22,267,260円	①年間給食費の約37%の負担軽減ができた。 ②コロナ禍における児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	①特になし ②感染状況等を踏まえながら、今後も保護者の経済的負担軽減策の検討を行う。
8	11	図書館パワーアップ事業	社会教育課	①在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしてもらい、外出抑制につなげるため、図書館の蔵書を増やし、読書環境の充実、住民生活を支援するもの。 ②児童書購入に係る経費 ③えびの市民図書館	3,000,000	1,500,000	0	0	0	1,500,000	R2.11	R3.3	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う活動の自粛によって、幼児・児童の自宅内で過ごす時間が増えていることを踏まえ、読書に親しむ機会を創出を図るために、市民図書館に新刊児童図書845冊を導入した。 【経費内訳】 図書購入：1,500,000円	①2年度末時点の児童書蔵書数は、506冊増加の41,346冊となり、全蔵書数の31.6%を占め、前年度比2.1%増加した。本事業を活用したことにより、子ども読書活動の推進を図る1つの施策であった児童書の更新を実現することができた。 ②3年度における12歳以下の図書貸出数は13,212冊で、2年度比48%増、元年度比4.7%増となり、異ごり需要に一定程度応えたものと評価する。	①新刊等情報の発信について効果性を追求していく必要がある。 ②SNSを活用した新刊情報の発信、インターネット回線を介した蔵書検索方法の周知強化を図る。
9	12	肥育牛経営緊急支援対策事業	畜産農政課	①持続可能な肥育経営を支援するため、肉用牛肥育経営安定交付金制度において補てん金が発動され、粗収益が生産コストを下回った際、その差額に係る生産コストの一部について支援するもの。 ②肥育牛経営緊急支援金 ③肉用牛肥育経営体	6,245,000	0	0	0	0	6,245,000	R2.5	R2.8	令和2年5月~7月において、牛・マルキン制度において交付金が発動された場合に、販売額と生産額の差額から交付額を差し引いた損失額の一部支援を行った。 全畜種5,000円/頭	①牛枝肉価格暴落に対し、市独自の支援を行うことにより、肥育経営体の経営を維持することが出来た。対象頭数1,249頭 6,245,000円 ②畜種により補てん金額が異なる為、畜種毎に支援額を設定しても良い。	①事業実施にあたり課題等は特になかったが、国の補てん金の財源が枯渇する事態となり、生産者は不安な状況となった。 ②不測の事態に備え今後も各関係機関との連携を図る。
10	13	地産地消応援消費対策事業	畜産農政課	①飯野高校生を対象とした食育学習に活用し、地域の地産地消への理解醸成を図るもの。 ②宮崎牛、えびの産米、地元野菜サラダの購入費 ③飯野高校生	600,000	0	300,000	0	0	300,000	R2.10	R2.10	飯野高校生を対象にえびの産宮崎牛・米・野菜を使用した特別弁当を提供し、同時に農業に関するアンケート調査を実施し、地産地消に対する理解醸成を行った。	①アンケート結果から高校生の農業に対する様々な印象を把握することが出来た。また、えびの産の農畜産物を実際に食したことにより地産地消への理解が深められた。 ②地元産食材に対する理解醸成が図れたため、今年度で事業は終了となる。市単独での実施は難しいため、今後、このような取り組みに活用できる交付金等があれば利用していきたい。	
11	14	新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給事業	観光商工課	①宮崎県中小企業融資制度の新型コロナウイルス感染症緊急対策交付金に対する利子補給を行うもの。 ②利子補給、基金積立金 ③市内に住所を有する法人又は個人事業主	12,058,204	0	0	0	180,941	11,877,263	R2.4	R3.3	宮崎県中小企業融資制度の新型コロナウイルス感染症緊急対策交付金により融資を受けた16事業者に対し利子補給を行い、36月分の利子相当額について基金積立を行った。 【経費内訳】 利子補給補助金：2,122,101円 基金積立金：9,775,162円 その他消耗品等：160,941円	①新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付により融資を受けた16事業者に対し利子補給を行い、36月分の利子補給額を基金積立した。 ②事業者の資金繰り支援を行うことにより、経営の安定と事業の継続が図られた。	①金融機関と連携して事業者の資金繰り支援を行う必要がある。 ②県及び金融機関と連携した支援体制を構築していく。
12	15	新型コロナウイルス感染症対策事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、必要な備蓄品を整備するもの。 ②医療関係者の感染防止に必要なマスク・消毒液を購入費用 ③医療関係者	2,020,040	0	0	0	0	2,020,040	R2.11	R3.3	医療関係者の感染防止に必要なマスク・消毒液の整備を行った。 【経費内訳】 マスク：1,062,600円 消毒液：957,440円	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、クラスター発生時に消毒液を介護施設に配布した。 ②新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時の対応として、介護施設に迅速に備蓄品を配布し、感染拡大防止対策の連携を図ることができた。	①消毒液に関して消費期限があることや、保管場所に限られることから長期的な供給が困難である。 ②今後、国の動向をみながら、検討していく。
13	16	GIGAスクール端末導入事業	学校教育課	①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現するもの。 ②端末購入費用、ウェブカメラ購入費用 ③市内小中学校9校	23,410,310	0	0	0	0	23,410,310	R2.9	R3.1	市内小中学校9校の全児童生徒の1人1台端末整備を行った。また、遠隔会議等に使用するウェブカメラを整備した。 児童生徒用端末20,335,480円 教師用端末3,014,330円 ウェブカメラ60,500円 総経費64,142千円(うち国庫補助金40,730千円)	①児童生徒及び教師用端末を揃えることにより、授業もタブレットを活用するなど、教育の幅が広がった。	①タブレット等が破損等した場合、同じものがあるのでも対応できない場合があるのでもその対応を検討。 ②タブレットの持ち帰り等を行う際の規則等の整備が必要である。

令和2年度 えびの市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証

(単位：円)

No.	計画書No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	A 総事業費	総事業費Aの財源内訳					事業 始期	事業 終期	実施状況	効果・成果及び検証(評価) ①効果・成果(数値等具体的に記入) ②検証(評価)	課題等 ①事業実施の中で課題等 ②今後の方向性
						B 国費 ※Fを除く	C 県費	D その他	E 一般財源	F 臨時交付金					
14	17	事業者応援給付金事業	観光商工課	①市内個人事業者及び中小企業のうち、収入額が前年同月比30%以上50%未満の減少かつ国の持続化給付金及び県の事業継続支援金の支給を受けていない事業者を対象として一律100千円の給付金を支給するもの。 ②事業者応援給付金、消耗品費 ③市内個人事業者及び中小企業	1,950,000	0	0	0	0	1,950,000	R2.7	R3.2	市内個人事業者及び中小企業のうち、収入額前年同月比30%以上50%未満の減少かつ国の持続化給付金及び県の事業継続支援金の支給を受けていない事業者を対象として一律100千円の給付金を支給した。 【経費内訳】 給付金：1,900,000円 その他消耗品等：50,000円	①19事業者に対し支援金を支給した。 ②給付金を支給することにより、事業者の事業継続を図ることができた。	①今回対象とはならなかったが、多くの事業者が影響を受けていることから、支援対象の設定が課題である。 ②支援対象の把握など商工団体等と連携を図りながら事業者支援を行っていく。
15	18	応援消費プレミアム付商品券発行事業補助金	観光商工課	①市民の生活支援及び消費喚起による市内商業者支援として、県が20%、市が10%のプレミアムを付与する「応援消費プレミアム付商品券」発行事業の実施に対し補助を行うもの。13,000円分の商品券を10,000円で7,900セット販売するもの。 ②商工会への補助金 ③えびの市商工会(住民基本台帳に記載されている全市民)	7,840,664	0	0	0	0	7,840,664	R2.6	R3.3	市民の生活支援及び消費喚起による市内商業者支援として、県が20%、市が10%のプレミアムを付与する「応援消費プレミアム付商品券発行事業の実施」に対し補助を行った。 【経費内訳】 商工会補助金：28,321,005円	①商品券(1冊10,000円)を7856冊販売し、市内161店舗で商品券が利用された。 ②商品券販売を事前予約制(コールセンター)にすることにより販売所の3密防止を図ることができた。	①事前予約時にコールセンターに電話が殺到し不遇状態が続くなど大きな混乱が生じた。 ②事前予約の体制については、購入者にとって平等性が保てるよう検討していくこととした。
16	19	休業要請協力金	観光商工課	①売上高の減少等により事業に支障が生じている市内商業事業者に対し、事業の維持及び継続のための支援により、本市商工業の安定を図るもの。 ②休業要請協力金 ③市内商業事業者	11,500,000	0	0	0	0	11,500,000	R2.8	R2.9	①売上高の減少等により事業に支障が生じている市内商業事業者に対し、事業の維持及び継続のための支援により、本市商工業の安定を図るもの。 【経費内訳】 支援金：19,250,000円	①107事業者に対し支援金を支給した。 ②支援金を支給することにより、多くの事業者が休業要請に応じ感染症拡大防止が図られた。	①休業要請が発出されてから短期間での事業実施となるため事業の周知等が課題である。 ②県や他市町村と連携して今後も感染症対策と事業者支援を行っていく。
17	20	肥育牛経営緊急支援対策事業②	畜産農政課	①持続可能な肥育経営を支援するため、肉用牛肥育経営安定交付金制度において補てん金が発動され、粗収益が生産コストを下回った際、その差額に係る生産コストの一部について支援するもの。 ②肥育牛経営緊急支援金 ③肉用牛肥育経営体	21,202,000	0	0	0	0	21,202,000	R2.9	R3.3	令和2年8月～令和3年3月において、牛マルキ制度において交付金が発動された場合に、販売額と生産額の差額から交付額を差し引いた損失額の一部支援を行った。 黒毛和種10,000円/頭 交雑種 5,000円/頭 乳用種 3,000円/頭	①牛枝肉価格暴落に対し、市独自の長期的な支援を行うことにより、肥育経営体の経営を維持することが出来た。 黒毛和種 868頭 8,680,000円 交雑種 2,307頭 11,535,000円 乳用種 329頭 987,000円 合計 3,504頭 21,202,000円 ②畜種毎に支援額を設定することにより、効果的に支援を行うことが出来た。	①事業実施にあたり課題等は特になかったが、国の補てん金の財源が枯渇する事態となり、生産者は不安な状況となった。 ②不測の事態に備え今後も各関係機関との連携を図る。
18	21	鶏卵生産者経営支援対策事業	畜産農政課	①鶏卵の業務・加工向けの需要減に伴い、価格が低迷し、採卵鶏農家の経営悪化が懸念されるため、鶏卵価格差補てん事業の補てん金が発動された場合に、生産者積立金の一部を支援し、経営の維持・強化を図るもの。 ②鶏卵生産者経営支援金 ③採卵鶏農家	1,121,000	0	0	0	0	1,121,000	R2.4	R3.3	鶏卵価格が暴落したことから、鶏卵価格差補てん事業に係る生産者積立金の一部支援を行った。	①鶏卵価格低迷により、鶏卵価格差補てん事業の生産者積立金の一部を支援した。 契約出荷数量に対し1kg当たり系統農家0.5円(JA同額)、系統外農家1.0円 ②鶏卵価格が暴落し補てん金が毎月発動される厳しい状況であったが、一部支援を行うことで負担軽減につながり、経営維持が図られた。	①事業実施にあたり課題等は特になかったが、国の補てん金が枯渇してしまう状況となり、農家は不安な状況となった。 ②不測の事態に備え今後も各関係機関との連携を図る。
19	22	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①感染症対策のためのマスク等購入支援を行うもの。 ②手指消毒液、非接触型体温計等の購入費 ③市内9小中学校	456,000	228,000	0	0	0	228,000	R2.6	R3.3	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避け児童生徒が安心して学ぶことができる体制を整えるため保健衛生用品等を配置した。 【経費内訳】 消毒液等：349,470円 ハンドソープ等：45,282円 非接触式電子温度計：52,360円 その他清掃用品：8,888円	①各学校において非接触式電子温度計を設置することにより来客者等の体調管理を行ったり、教室等の消毒、児童生徒の手洗い等を行うことができた。 ②消毒や手洗い等の徹底により集団での感染等を抑えることができた。	①消毒等が全国的に購入されたため、入荷まで期間が必要な場合があったので、早目の対応を心掛けた。 ②感染状況等を踏まえながら感染対策を行っていく。
20	23	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業) ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業を行うもの。 ②感染症対策・学習保障に係る使い捨て手袋、フェイスシールド、簡易ベッド、パーティション等 ③市内9小中学校	6,371,565	3,185,000	0	0	0	3,186,565	R2.4	R3.3	各校長の判断において迅速かつ柔軟に対応していただき感染対策の消耗品等を購入した。 【経費内訳】 小学校消耗品：2,059,226円 小学校備品購入：1,888,115円 中学校消耗品：1,160,449円 中学校備品：1,263,775円	①各学校において購入ができたので感染対策に対応できた。 ②学校の実情に合わせて、空気清浄機や保健室用折りたたみベット、パーティション等を購入してきたので感染対策を行うことができた。	①特になし ②感染状況を鑑みながら必要なものの購入を推進していく。

令和2年度 えびの市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証

(単位：円)

No.	計画書No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	A 総事業費	総事業費Aの財源内訳					事業 始期	事業 終期	実施状況	効果・成果及び検証(評価) ①効果・成果(数値等具体的に記入) ②検証(評価)	課題等 ①事業実施の中での課題等 ②今後の方向性
						B 国費 ※Fを除く	C 交付金を充当した 県費	D その他	E 一般財源	F 臨時交付金					
21	24	修学旅行キャンセル料等保護者負担支援補助金	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症対策に係る保護者の経済的負担の軽減を図るもの。 ②修学旅行のために予約した宿泊施設、交通手段等を解約したときに発生する違約金及び修学旅行の延期に伴い発生する経費並びに修学旅行の参加人数が予定より減少したことにより発生する追加費用 ③修学旅行に参加申し込みをしていた児童生徒の保護者	163,262	0	0	0	0	163,262	R3.3	R3.3	修学旅行キャンセル料等について保護者支援として補助を行った。 【経費内訳】 キャンセル料：163,262円	①中学校1校(41名)においてキャンセル料が発生した。 ②キャンセル料を全額負担することで保護者の経済的負担を軽減することができた。	①②義務教育の中で、しっかり教育が受けられるよう支援体制を整えたい。
22	25	プレミアム付商品券発行事業補助金	観光商工課	①低迷する市内経済を安定的な成長軌道へ戻すための消費喚起策として、県が15%、市が15%のプレミアムを付与する「プレミアム付商品券発行事業」の実施に対し補助を行うもの。 ②商工会への補助金 ③えびの市商工会(住民基本台帳に記載されている全市民)	14,608,704	0	0	0	0	14,608,704	R2.9	R3.3	低迷する市内経済を安定的な成長軌道へ戻すための消費喚起策として、県が15%、市が15%のプレミアムを付与する「プレミアム付商品券発行事業」の実施に対し補助を行った。 【経費内訳】 商工会補助金：29,217,438円	①商品券(1冊6,500円)を15,649冊販売し、市内169店舗で商品券が利用された。 ②商品券が利用されることにより、市内の利用者につながり感染症の影響が緩和された。	①プレミアム率の高さから、購入希望者が多く、希望する冊数の購入ができなかった。 ②商工会と連携して、事業者及び利用者にとって有益な事業となるよう実施していく。
23	27	高度無線環境整備推進事業(R3へ繰越有)	企画課	①高速大容量、高信頼・低遅延通信及び多数同時接続の特徴を持つ5GやIoTサービスの前提となる高速情報通信網(光ファイバ)の条件不利地域への民間電気通信事業者による整備促進(民設民営方式)を行うことで、在宅勤務等の「新しい生活様式」への対応、GIGAスクール構想推進及び農業・観光・交通等の産業のスマート化の展開を将来的に可能とするためのもの。 ②高度無線環境整備推進事業負担金 ③民間電気通信事業者(NTT西日本)	122,333,531	0	0	0	0	122,333,531	R3.1	R4.3	令和2年10月から事業を開始し、令和3年10月からサービスを開始した。	①フレッツ光契約数(R3.10～R4.3)188件 ②条件不利地域への整備が進んだことにより、市内での情報通信格差の解消と無線通信を利用できる地域の拡大につながった。	①②無線環境を利用する世帯の拡充を目指す必要がある。
24	31	農業制度資金利子補給事業	畜産農政課	①新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、県が制度化している「みやざきの農を支えるひなた資金(うち経済変動・伝染病対策資金)」の融資に伴う利子の全部を補給支援するもの。 ②利子補給支援 ③市内の農畜産業経営体	59,796	0	29,898	0	0	29,898	R2.5	R3.3	県が制度化している「みやざきの農を支えるひなた資金(うち経済変動・伝染病対策資金)」の融資に伴う利子補給を行った。 【経費内訳】 利子補給件数：3件	①農業経営に影響を受けている農業者に対し、必要な経費を迅速に融通した。 ②必要な経費を迅速に融通することにより、経営の再建及び維持安定を図ることができた。	①融資の利用できる金融機関が少ない ②影響を受ける農業者への周知徹底を行っていく。
25	32	避難所用感染防止消耗品購入事業	基地・防災対策課	①避難所の衛生環境を保つため、消毒薬等の資材を避難所に備蓄するもの。 ②非接触型体温計やフェイスシールド等の消耗品費 ③市内各避難所	369,985	0	0	0	0	369,985	R2.5	R2.8	避難所における感染防止対策のため、消毒薬等の資材を避難所に整備した。 【経費内訳】 消耗品費：369,985円	①②消毒薬や非接触型体温計、フェイスシールドを整備することで、避難所における感染防止対策を図ることができた。	①②今後も継続した感染防止対策が必要であるが物によっては不足があり、入手に時間がかかる可能性があるため、計画的な調達が必要である。
26	34	えびの市営業時間短縮要請協力金	観光商工課	①県による飲食店等への営業時間短縮要請に伴い、協力した飲食店等に対し営業時間短縮要請協力を支給することで、事業の維持及び継続を図るもの。 ②休業要請協力金 ③市内飲食店事業者	12,897,116	0	0	0	0	12,897,116	R3.1	R3.3	県による飲食店等への営業時間短縮要請に伴い、協力した飲食店等に対し営業時間短縮要請協力を支給した。 【経費内訳】 協力金：128,960,000円 その他消耗品等：223,116円	①令和3年1月9日から1月22日要請分107店舗、令和3年1月23日から2月7日要請分108店舗に対し協力金を支給した。 ②協力金を支給することにより、より多くの飲食店が営業時間短縮に応じ、感染症拡大の防止が図られた。	①営業時間短縮要請が発出されてから短期間での事業実施となるため事業の周知等が課題である。 ②県や他市町村と連携して今後も感染症対策と事業者支援を行っていく。
27	35	公共施設等における感染防止対策事業	財産管理課	①公共施設等に非接触式検知器を導入し、公共施設等における感染防止対策を図るもの。 ②市役所本庁、旅野出張所、真幸出張所、文化センター、図書館、歴史民俗資料館、老人福祉センターの計7か所に設置する非接触式検知器の購入経費 ③市内各公共施設	491,568	0	0	0	0	491,568	R3.1	R3.2	公共施設等で感染防止対策を図るため、検温するための非接触式検知器を購入して施設の入口に設置した。 【経費内訳】 非接触式検知器：491,568円	①公共施設7か所に非接触式検知器を入口に設置し検温をお願いした。 ②非接触式であるため、安心して誰でも検温ができ、感染防止対策に役立った。	①特になし ②今後も感染状況を踏まえながら、施設等での感染症対策を行っていく。
28	37	えびの市事業者収入減対策事業補助金(R3へ繰越有)	観光商工課	①えびの市営業時間短縮要請協力金に該当しない事業者で、新型コロナウイルス感染症感染拡大により売上高が減少している事業者に対し、商工会を通じて減収事業者対策支援金を交付することで、事業の維持及び継続を図るもの。 ②商工会への補助金 ③えびの市商工会	27,509,650	0	6,495,128	0	0	21,014,522	R3.2	R3.6	新型コロナウイルス感染症感染拡大により売上高が減少している事業者に対し、商工会を通じて減収事業者対策支援金を交付することで、事業の維持及び継続を図った。 【経費内訳】 商工会補助金：21,014,522円	①129事業者に対し支援金を支給した。 ②支援金を支給することにより、事業者の事業継続を図ることができた。	①多くの事業者が影響を受けていることから、事業の周知方法等が課題である。 ②支援対象の把握など商工団体等と連携を図りながら事業者支援を行っていく。